

中南米訪問 ～ メキシコ・ブラジル ～



ジャパントラスト、営業部の大和ダニロでございます。6月の初め頃から約一カ月間ラテンの国、ブラジルとメキシコを訪れました。W杯真只中であり、サッカーが国技の両国は国中が活気に溢れており、人々の会話やテレビ、新聞など見渡す限りその話題一色でした。日本国内とは様子の違うサッカーへの情熱を肌で感じる事が出来ました。そして、共通して感じたのは両国の経済成長の凄さでした。

私自身、ラテンアメリカを10年近く訪問していなかったこともあり、とても衝撃を受けました。その成長の様子は、近年の中国に勝るとも劣らないものでした。大都市のサンパウロとメキシコシティ市内には、誰もが知っている有名企業の看板を掲げた高層ビルが数多く立ち並んでおり、その中には当然のように日系企業の看板もあり、そして、街を見渡すとトヨタやホンダ・日産の車が多く走って見えました。日本で見慣れている造形が異国の風景に自然に溶け込んでいる、そんな情景が目の前に広がって見えました。今回は訪れたメキシコについて、簡単に紹介致します。



ジャパントラストかわら版
情熱羅針盤
 Vol.102

【メキシコ情勢】

2011年以降、日系自動車メーカー4社（トヨタ・ホンダ・日産・マツダ）が生産投資を発表して以来、多くの日系企業が相次いでメキシコへ進出をしていき、次々と拠点を設け、日本ブランドをメキシコで展開していきました。その結果、メキシコの道には多くの日本車が走るようになりました。

感覚としてブラジル車を上回る台数が走っている印象でした。日系自動車メーカーがそこまでメキシコに力を入れている理由はメキシコ市場だけを目的とせず、その先にあるアメリカ市場（メキシコ生産、アメリカ・ラテンアメリカへの輸出）を睨んだ投資であると知りました。もちろんこの構想を持ってメキシコに進出したのは日本だけではなく、多くの欧州系自動車メーカーも同様です。

【メキシコ代理店紹介】

メキシコには南米同様に“一クセのある”輸出入システムがあり、手続きやトラブル時には十分にそれに精通した知識と十分な経験を持つスタッフが対応をすることが重要となります。弊社では数或る代理店から最良の対応が出来る代理店をピックアップし状況に応じてお客様へご案内をしております。



営業と業務の責任者は日本人で、メキシコ通関やそのシステムに精通した幅広い知識を持っています。多くの日系企業や貨物の取扱実績があり、信頼の厚いジャパントラストの代理店です。

中南米の多くの国々に拠点を持つ、その地域の貿易のプロフェッショナル。メキシコ国内には12の拠点を構えており、トラブルや緊急時にはスピーディーな対応が可能です。



この地域についてお問い合わせがございましたら、何なりとお申し付け下さいますよう、よろしくお願い致します。

